

泉佐野市田尻町清掃施設組合新ごみ処理  
施設整備事業に係る環境影響評価現況調  
査の結果概要（冬季・春季）について

令和4年10月28日（金）

泉佐野市田尻町清掃施設組合














# 現況調査の実施状況

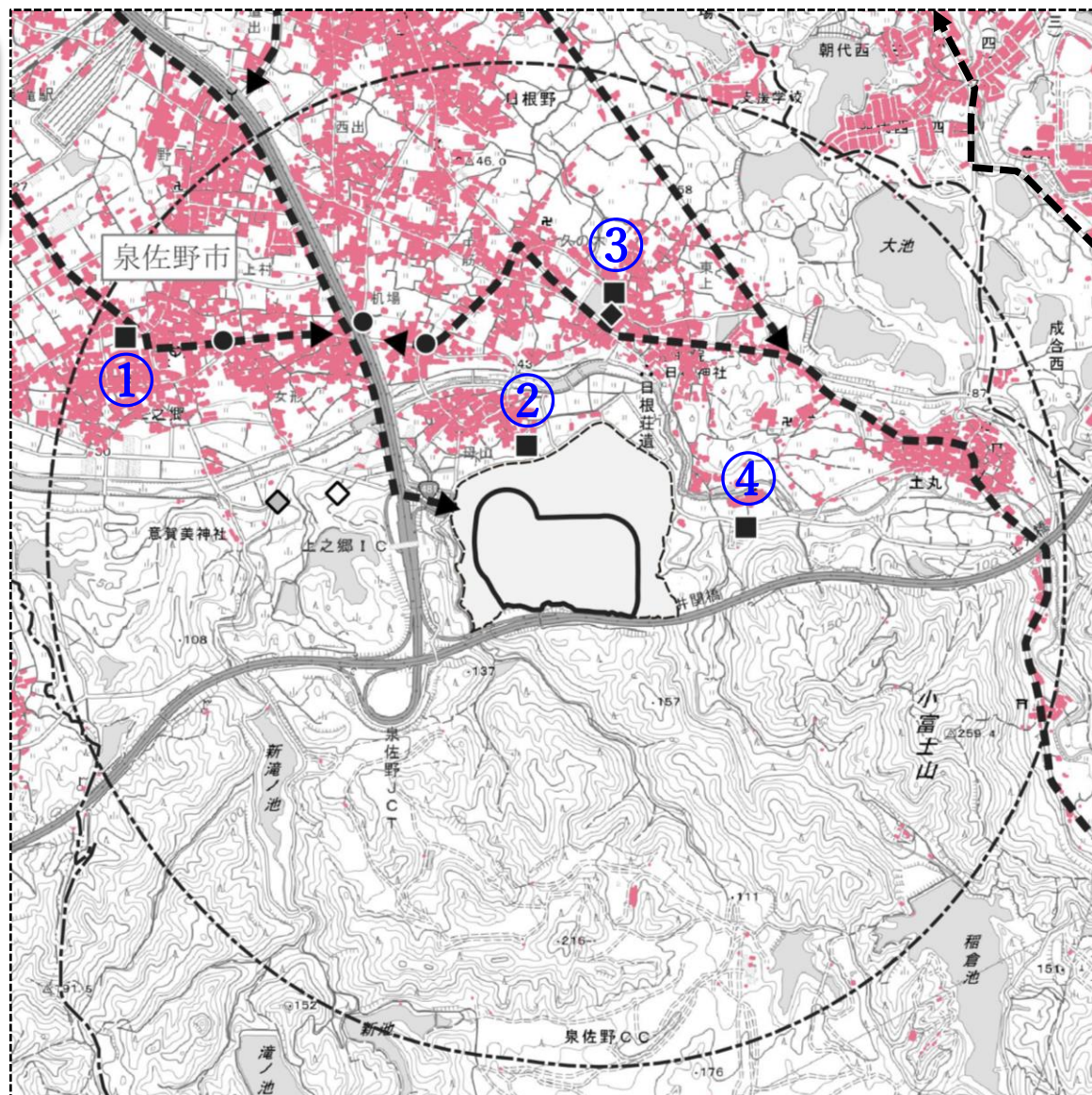
調査項目		調査時期・頻度等	冬季	早春季	春季	初夏季	
大気質	大気質	4季(7日/季)	実施済み		実施済み		
	地上気象	通年連続	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	
	上層気象	通年連続	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	
	高層気象	4季(7日/季)	実施済み		実施済み		
騒音		1季(2日/秋)					
振動		1季(2日/秋)					
低周波音		1季(2日/秋)					
悪臭		1季(1日/夏)					
陸生動物	哺乳類	4季(2日/季)	実施済み		実施済み		
	鳥類	4季(2日/季)	実施済み		実施済み	実施済み	
	猛禽類	営巣木踏査	1回(3日/回)	実施済み			
		定点調査	7回(3日/回)		実施済み	実施済み	実施済み
		夜間調査	5回(2日/回)		実施済み	実施済み	実施済み
	両生類爬虫類		4季(1日/季)		実施済み	実施済み	
	昆虫類	昆虫類調査	3季(2日/回)			実施済み	
		夜間調査	1回(1日/回)				実施済み
	陸産貝類		2季(1日/季)			実施済み	
水生生物	魚類	4季(2日/季)	実施済み		実施済み		
	底生生物	2季(2日/季)		実施済み		実施済み	
陸生植物	植物相	4季(2日/季)		実施済み	実施済み		
	植生	1回(2日/回)					
人と自然との触れ合いの活動の場		4季(2日/季)	実施済み		実施済み		
景観		4季(1日/季)	実施済み		実施済み		

# 調査地点（一般環境大気質）

調査地点は、対象事業実施区域の位置、道路の状況、調査スペース等を踏まえて設定している。

地点番号	調査場所
1	泉佐野市立上之郷コミュニティセンター
2	母山地区保全対象家屋
3	東上第一児童公園
4	泉ヶ丘福祉会

凡例	
	対象事業実施区域
	調査地域(1.5km)
	区画整理事業予定区域
	ごみ運搬ルート
	行政界
	住居等
	■：一般環境大気質
	●：道路沿道大気質
	◆：地上気象
	◇：高層気象
	◆：上層気象



# 調査結果（一般環境大気質）

大気質の環境基準設定項目（一般環境）については、全ての調査項目及び調査地点で環境基準を下回る結果であった。












調査項目	調査時期	調査結果	環境基準	基準との比較
二酸化硫黄	冬季	日平均値の最高値：0.000ppm～0.001ppm 1時間値の最高値：0.001ppm～0.003ppm	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり かつ1時間値が0.1ppm以下	○
	春季	日平均値の最高値：0.001ppm～0.002ppm 1時間値の最高値：0.004ppm		○
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	冬季	日平均値の最高値：0.005～0.007ppm	1時間値の1日平均値が0.04ppmから 0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下	○
	春季	日平均値の最高値：0.010～0.015ppm		○
浮遊粒子状物質	冬季	日平均値の最高値：0.017mg/m <sup>3</sup> ～0.021mg/m <sup>3</sup> 1時間値の最高値：0.024mg/m <sup>3</sup> ～0.045mg/m <sup>3</sup>	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり かつ1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下	○
	春季	日平均値の最高値：0.012mg/m <sup>3</sup> ～0.017mg/m <sup>3</sup> 1時間値の最高値：0.022mg/m <sup>3</sup> ～0.034mg/m <sup>3</sup>		○
ダイオキシン類	冬季	0.0049～0.0082pg-TEQ/m <sup>3</sup>	年平均値で0.6pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下	○
	春季	0.0045～0.0068pg-TEQ/m <sup>3</sup>		○
塩化水素	冬季	0.0002ppm 未満	目標環境濃度：0.02ppm 以下	○
	春季	0.0002ppm 未満～0.0002ppm ※ ※ 塩化水素の検出下限値は0.0002ppm		○
水銀	冬季	1.1～1.7ng/m <sup>3</sup>	指針値：年平均値40ng/m <sup>3</sup> 以下	○
	春季	1.4～1.8ng/m <sup>3</sup>		○

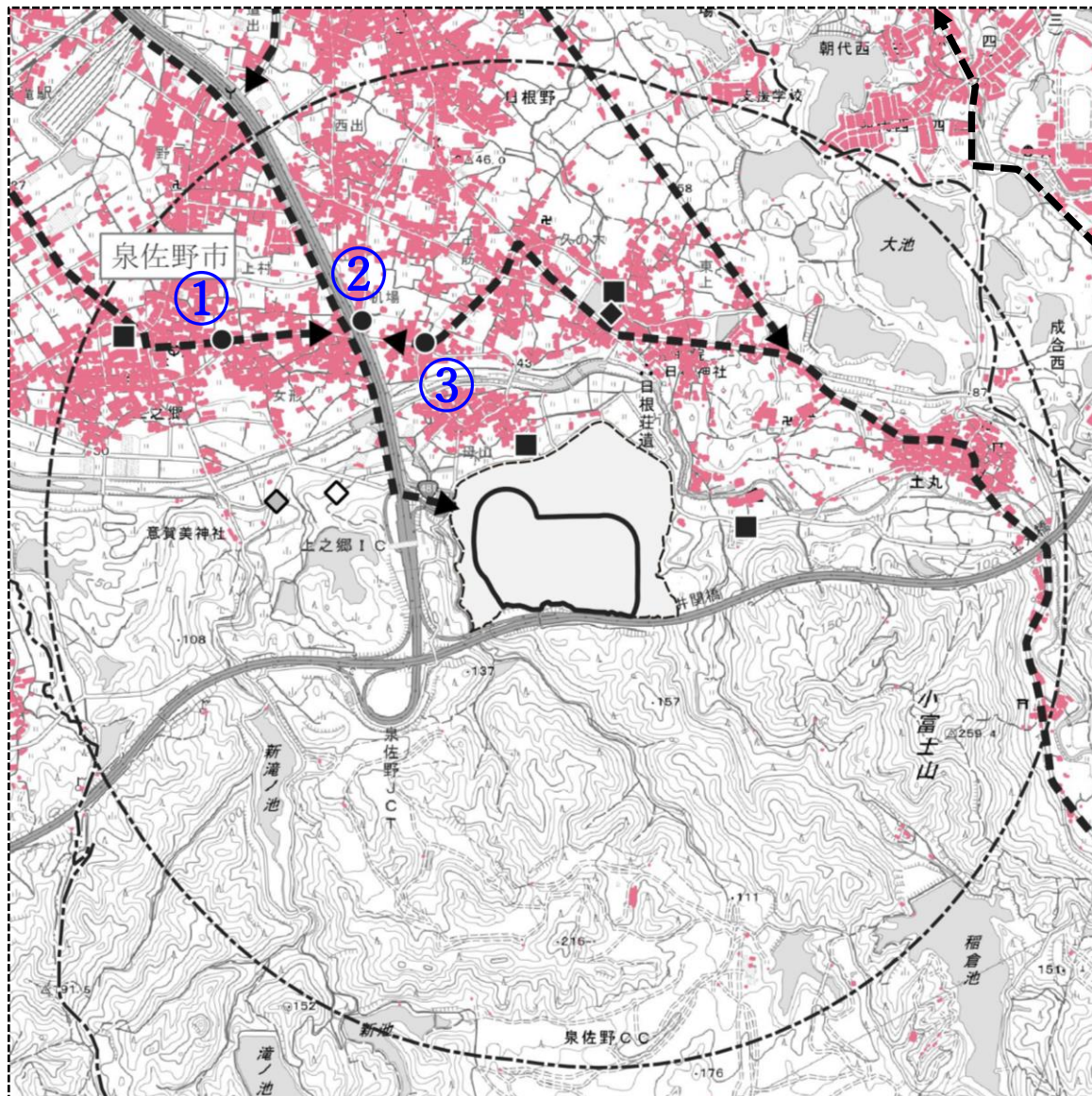
# 調査地点（道路沿道大気質）

調査地点は、対象事業実施区域の位置、道路の状況、調査スペース等を踏まえて設定している。

地点番号	調査場所
1	上之郷こども園駐車場
2	三角地
3	上之郷公園

## 凡例

- |   |            |   |             |
|---|------------|---|-------------|
|  | 対象事業実施区域   |  | 調査地域(1.5km) |
|  | 区画整理事業予定区域 |  | ごみ運搬ルート     |
|  | 行政界        |  | 住居等         |
|  | 一般環境大気質    |  | 道路沿道大気質     |
|  | 地上気象       |  | 高層気象        |
|  | 上層気象       |   |             |



# 調査結果（道路沿道大気質）

大気質の環境基準設定項目（沿道環境）である窒素酸化物、浮遊粒子状物質は、全ての調査項目及び調査地点で環境基準を下回る結果であった。












調査項目	調査時期	調査結果	環境基準	基準との比較
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	冬季	日平均値の最高値：0.006～0.007ppm	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下	○
	春季	日平均値の最高値：0.016～0.018ppm		○
浮遊粒子状物質	冬季	日平均値の最高値：0.020mg/m <sup>3</sup> ～0.021mg/m <sup>3</sup> 1時間値の最高値：0.031mg/m <sup>3</sup> ～0.040mg/m <sup>3</sup>	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下	○
	春季	日平均値の最高値：0.018mg/m <sup>3</sup> 1時間値の最高値：0.025mg/m <sup>3</sup> ～0.028mg/m <sup>3</sup>		○

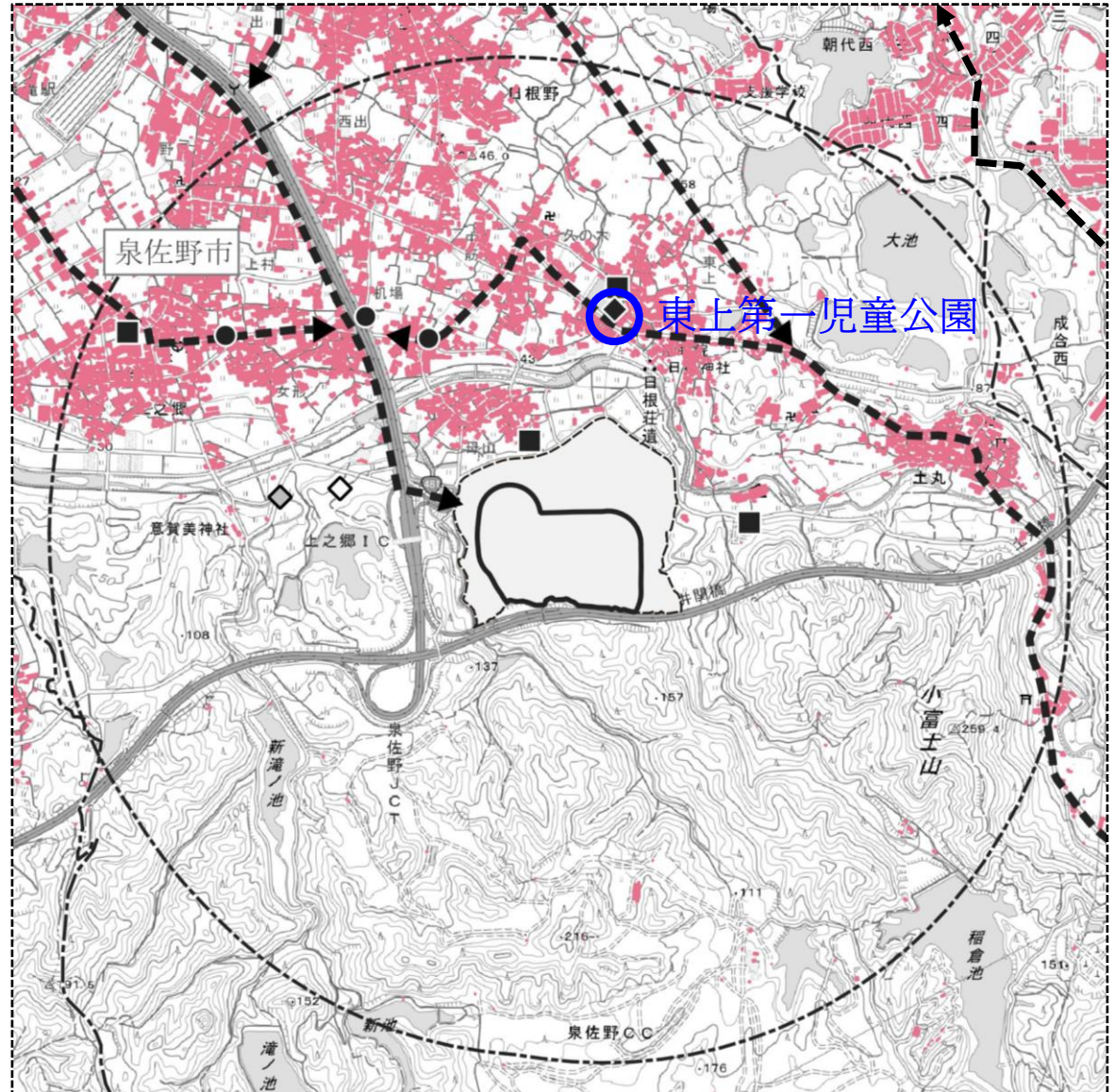


# 調査地点（地上気象）

調査地点は、当該地区の気象の状況を把握するため、対象事業実施区域の位置、調査スペース等を踏まえて設定している。

## 凡例

- |  |  |
|--|--|
|  対象事業実施区域    |  調査地域(1.5km) |
|  区画整理事業予定区域 |  ごみ運搬ルート    |
|  行政界        |  住居等        |
- 
- |   |
|---|
|  一般環境大気質 |
|  道路沿道大気質 |
|  地上気象    |
|  高層気象    |
|  上層気象    |



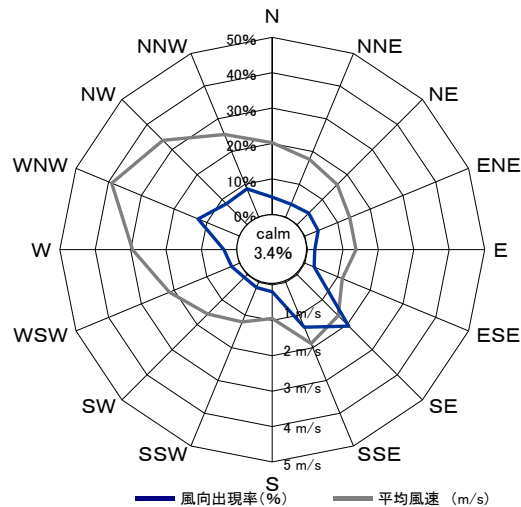


# 調査結果（地上気象）

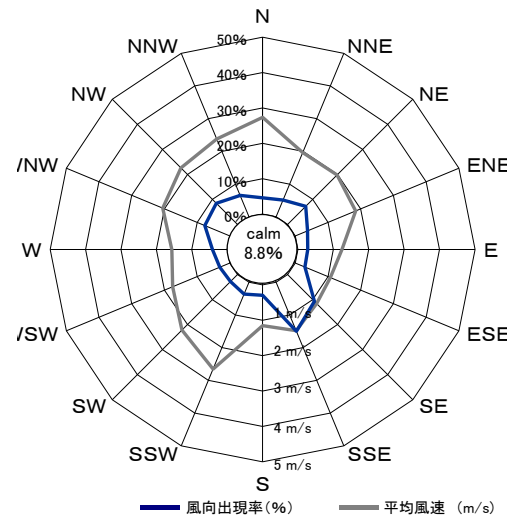
大気質の地上気象の観測結果（気温・湿度）について、令和4年1月～6月の平均気温は13.2℃、日平均値の最高は34.6℃、日平均値の最低は2.1℃であった。また平均湿度は68.3%となっていた。

項目 期間	気温（℃）			湿度（%）		
	平均値	日平均値の 最高値	日平均値の 最低値	平均値	日平均値の 最高値	日平均値の 最低値
令和4年 1月	4.9	7.3	3.0	67	88	56
令和4年 2月	4.7	8.3	2.1	64	84	48
令和4年 3月	10.9	17.6	5.2	68	86	50
令和4年 4月	15.9	26.3	3.3	69	99	27
令和4年 5月	18.9	29.8	7.6	68	99	26
令和4年 6月	23.9	34.6	13.4	74	99	36
	平均：13.2	最高：34.6	最低：2.1	平均：68.3	最高：99	最低：26

冬季の風配図例  
(2022年1月)



春季の風配図例  
(2022年4月)














風向・風速について、冬季（1月）は、南東や西北西からの風が卓越しており、春季（4月）は、南南東からの風が卓越していた。

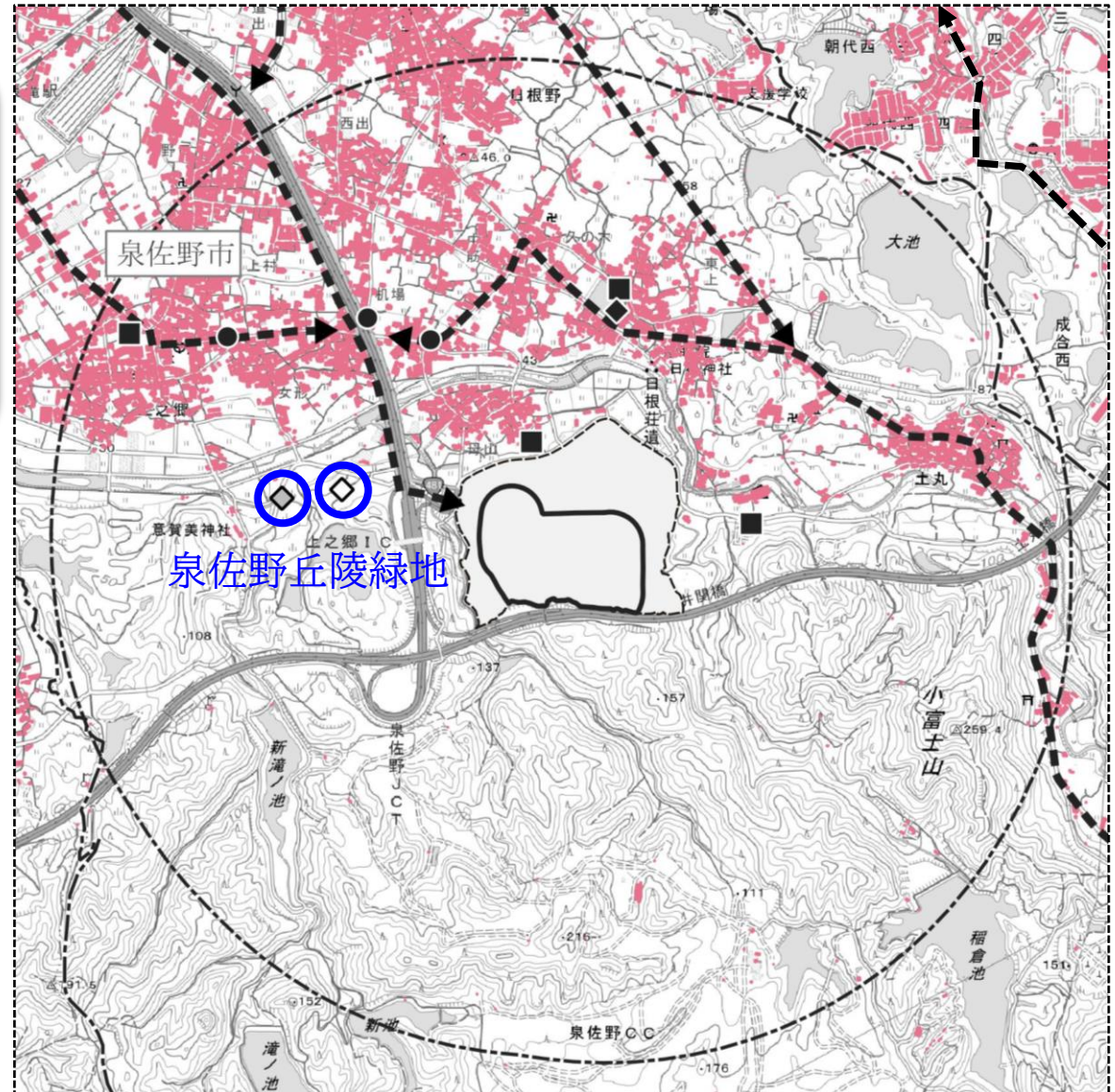
卓越とは、最も頻度が高い風向き。

# 調査地点（高層気象、上層気象）

調査地点は、当該地区の高層における気象の状況を把握するため、対象事業実施区域の位置、調査スペース等を踏まえて設定している。

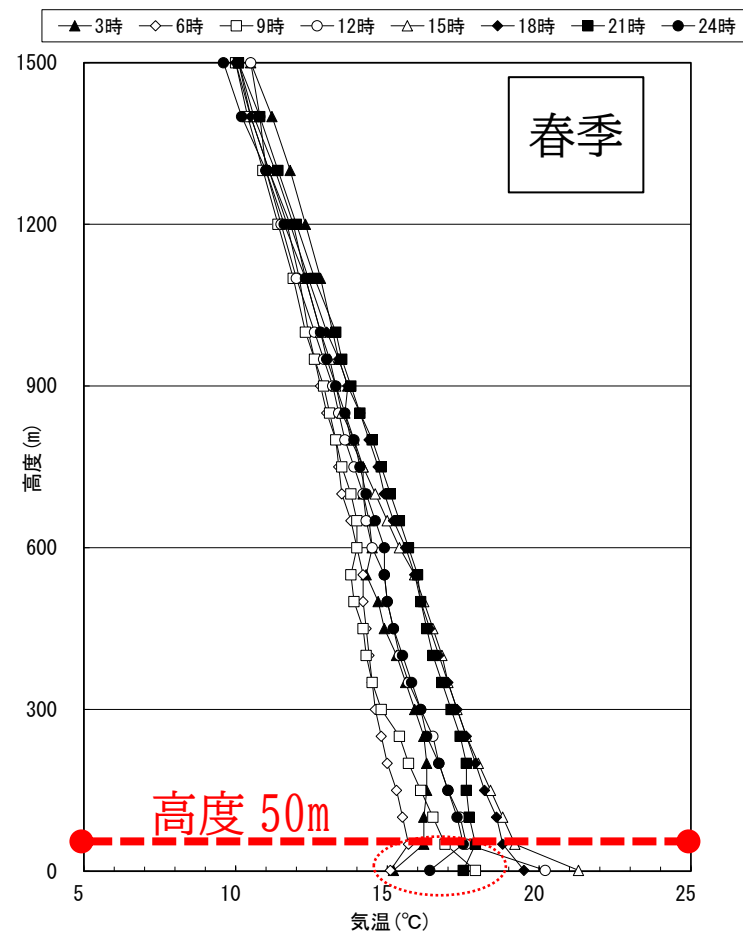
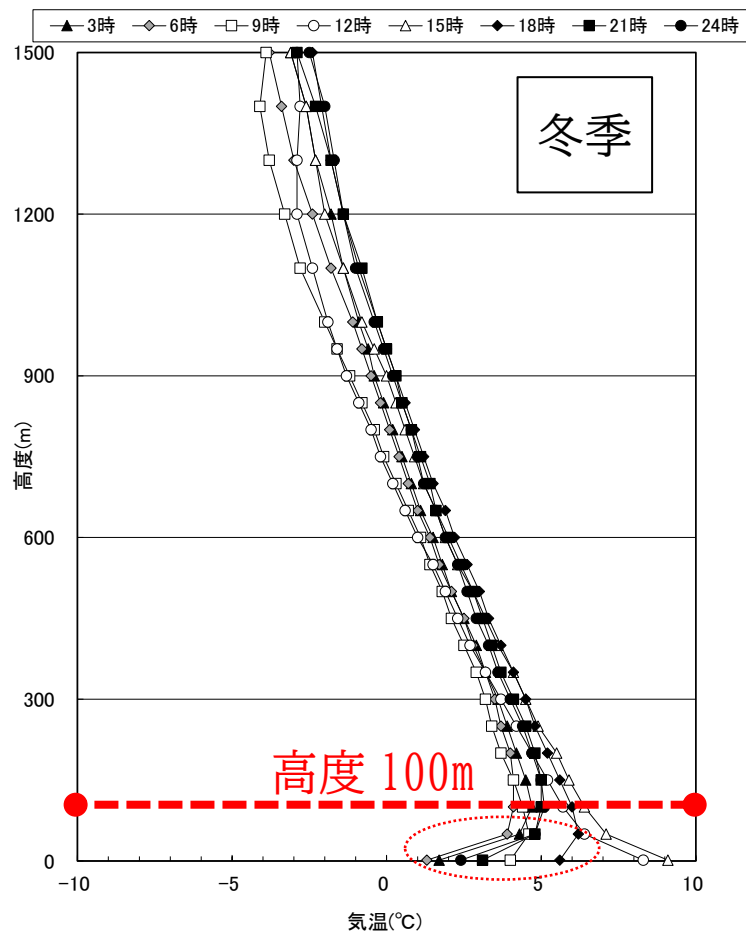
## 凡例

- |   |            |   |             |
|---|------------|---|-------------|
|   | 対象事業実施区域   |   | 調査地域(1.5km) |
|  | 区画整理事業予定区域 |  | ごみ運搬ルート     |
|  | 行政界        |  | 住居等         |
|  | ■：一般環境大気質  |  | ●：道路沿道大気質   |
|  | ◆：地上気象     |  | ◇：高層気象      |
|  | ◆：上層気象     |   |             |



# 調査結果（高層気象、上層気象）

冬季調査では高度 100m 以下の範囲で気温の逆転（逆転層）が確認された。  
春季調査では高度 50m 以下の範囲で気温の逆転（逆転層）が確認された。













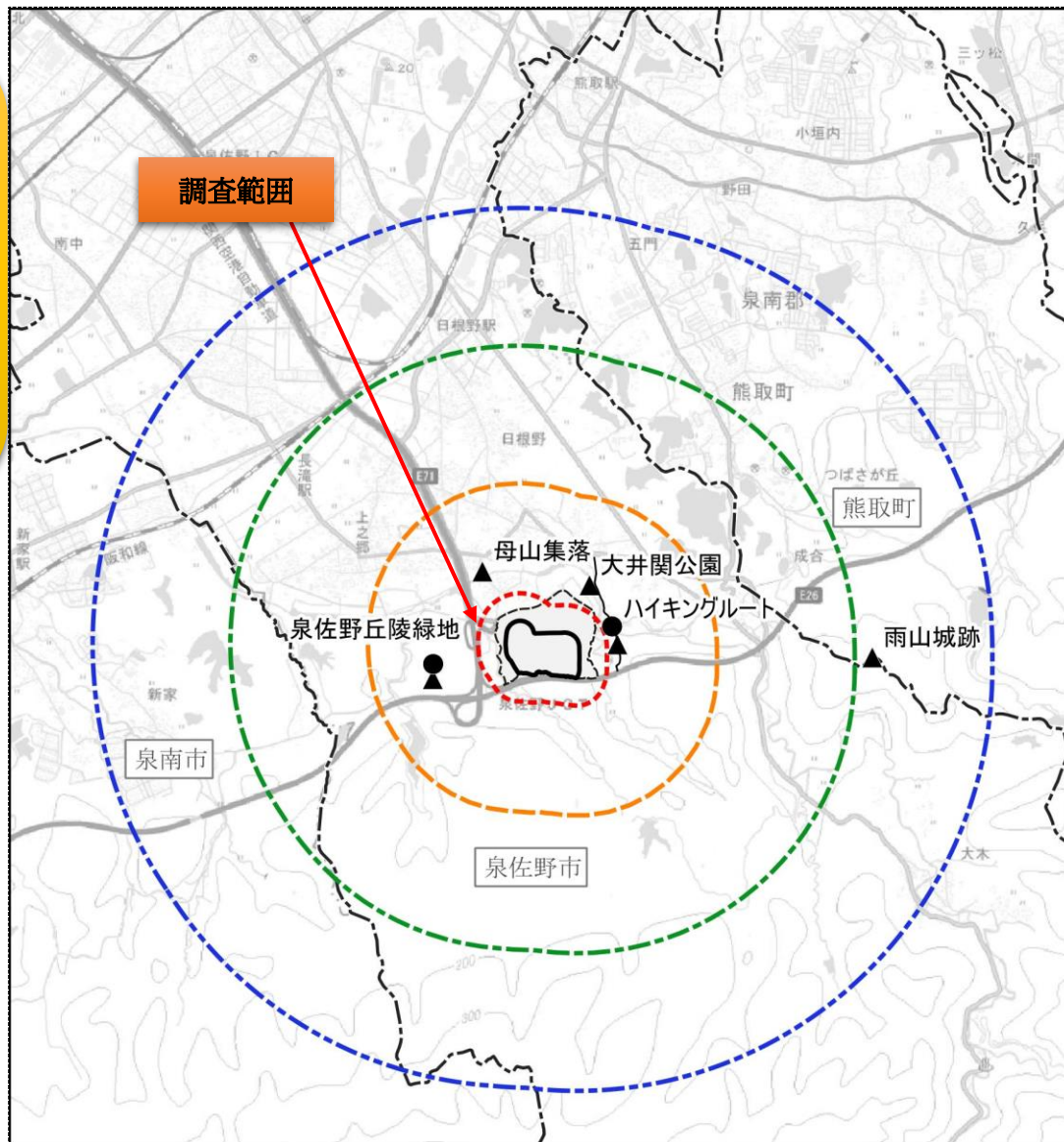
※各高度データは冬季調査及び春季調査における対象時刻データの平均値である。

# 調査地点（陸域生態系）

調査地点は、対象事業実施区域を中心に、事業実施による影響範囲等を踏まえて設定している。  
また、水生生物は周辺河川も調査地点として設定している。

## 凡 例

-  対象事業実施区域
-  土地区画整理事業予定区域
-  行政界
-  ハイキングルート
-  人と自然との触れ合いの活動の場調査地点
-  景観調査地点
-  陸生動物、植物相調査範囲(対象事業実施区域及び周辺200m)
-  植生調査範囲(対象事業実施区域及び周辺1km)
-  猛禽類調査観察範囲(対象事業実施区域及び周辺2km)
-  景観調査地域(対象事業実施区域及び周辺3km)



## 調査結果（哺乳類）

冬季調査では6科8種、春季調査では6科8種の哺乳類が確認された。  
重要種としては、イタチ属、ニホンアナグマが確認された。

確認種数	8科12種
確認された重要種	イタチ属、ニホンアナグマ



イタチ属

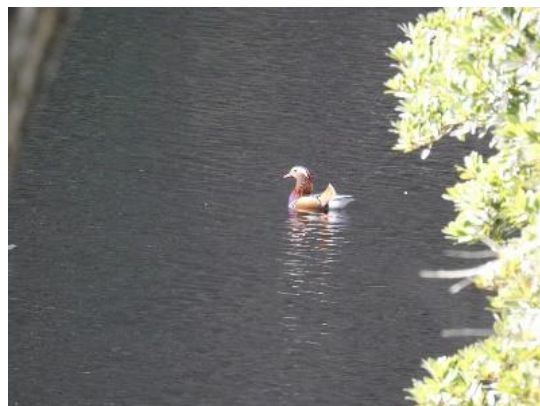


ニホンアナグマ

# 調査結果（鳥類）

冬季調査では 21 科 32 種、春季調査では 23 科 35 種、初夏調査 22 科 31 種の鳥類が確認された。  
重要種としては、オシドリ、ケリ、ミサゴ等が確認された。

確認種数	30科55種
確認された重要種	オシドリ、ケリ、ミサゴ、オオタカ、フクロウ、サンショウクイ、コシアカツバメ、センダムシクイ、カシラダカ



オシドリ



オオタカ



サンショウクイ（確認環境）

## 調査結果（両生類爬虫類）

早春季調査では9科9種、春季調査では8科13種の両生類・爬虫類が確認された。  
重要種としては、アカハライモリ、トノサマガエル等が確認された。

確認種数	11科16種
確認された重要種	アカハライモリ、トノサマガエル、シュレーゲルアオガエル、ヤマカガシ



アカハライモリ



シュレーゲルアオガエル



ヤマカガシ

# 調査結果（昆虫類）

春季調査（初夏季含む。）では141科440種の昆虫類が確認された。  
重要種としては、オグマサナエ、ヤスマツアメンボ、ヘイケボタル、ヒメボタル等が確認された。

確認種数	141科440種
確認された重要種	フタスジサナエ、オグマサナエ、ヤスマツアメンボ、スジヒラタガムシ、ヤマトアオドウガネ、ヘイケボタル、ヒメボタル



オグマサナエ



スジヒラタガムシ



ヘイケボタル



## 調査結果（陸産貝類）

春季調査では11科32種の陸産貝類が確認された。  
重要種としては、アズキガイ、ヒメサカキビ、ウメムラシタラガイ、クチマガリマイマイが確認された。

確認種数	11科32種
確認された重要種	アズキガイ、ヒメサカキビ、ウメムラシタラガイ、クチマガリマイマイ



アズキガイ



ヒメサカキビ



ウメムラシタラガイ

# 調査結果（魚類）

冬季調査では5科11種、春季調査では3科7種の魚類が確認された。  
重要種としては、ドジョウ、シマヨシノボリ、ウキゴリが確認された。

確認種数	5科12種
確認された重要種	ドジョウ、シマヨシノボリ、ウキゴリ



ドジョウ



シマヨシノボリ



ウキゴリ

# 調査結果（底生生物）

早春季調査では67科122種、初夏調査では60科111種の底生生物が確認された。  
重要種としては、マルタニシ、モノアラガイ、ヒメサナエ等が確認された。

確認種数	78科161種
確認された重要種	マルタニシ、モノアラガイ、ドブシジミ、ヒメサナエ、フタスジサナエ、オグマサナエ、ヤスマツアメンボ、ヒメミズカマキリ、ツマグロトビケラ



マルタニシ



フタスジサナエ



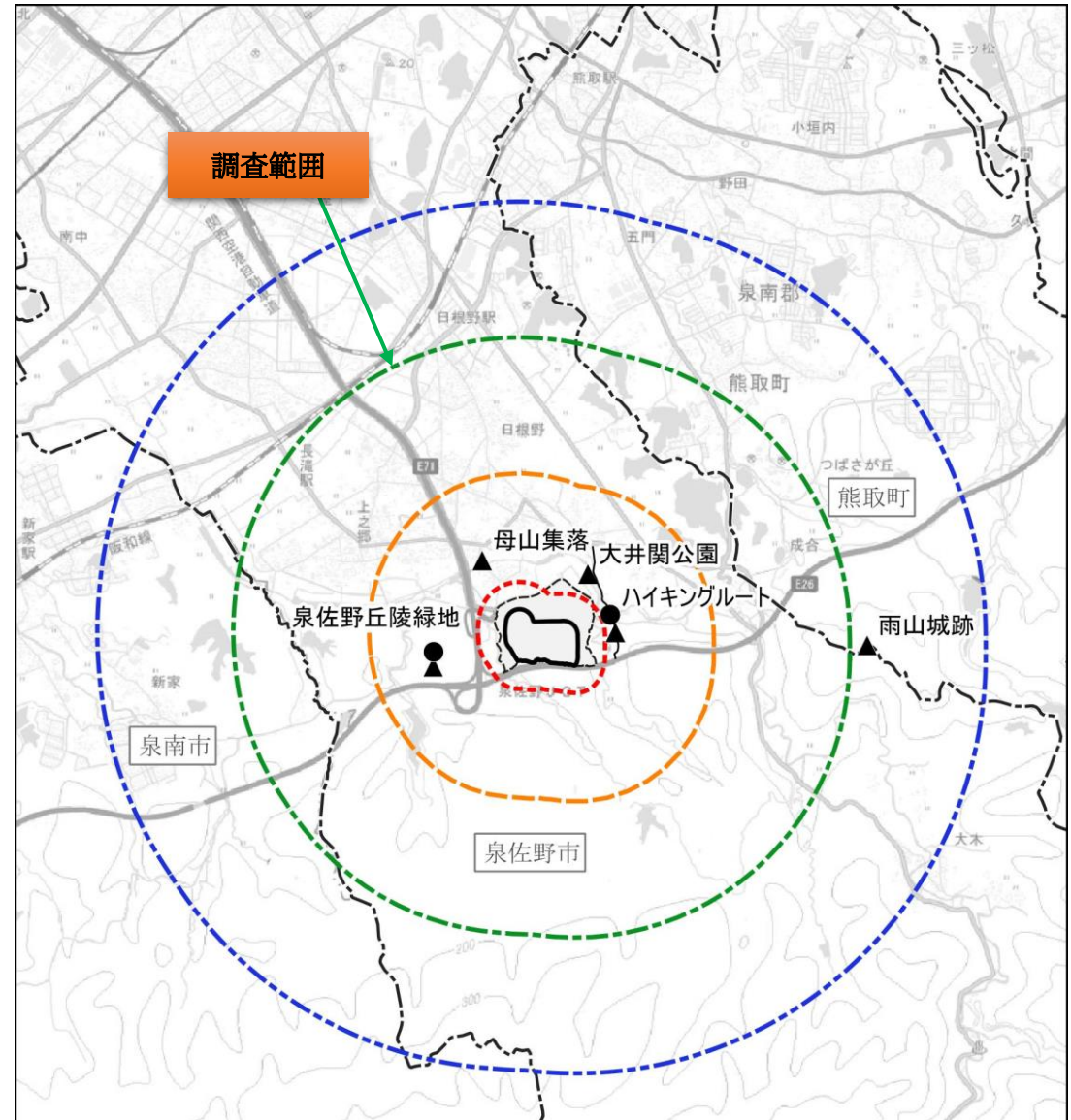
ヤスマツアメンボ

# 調査地点（猛禽類）

調査地点は、対象事業実施区域を中心に、事業実施による影響範囲等を踏まえて設定している。

## 凡例

- 対象事業実施区域
- 土地区画整理事業予定区域
- 行政界
- ハイキングルート
- 人と自然との触れ合いの活動の場調査地点
- 景観調査地点
- 陸生動物、植物相調査範囲(対象事業実施区域及び周辺200m)
- 植生調査範囲(対象事業実施区域及び周辺1km)
- 猛禽類調査観察範囲(対象事業実施区域及び周辺2km)
- 景観調査地域(対象事業実施区域及び周辺3km)



# 調査結果（猛禽類）

2月～6月の調査で4科10種の猛禽類、2科2種の鳥類（夜間）が確認された。  
周辺で繁殖が確認された種として、ミサゴ、オオタカ、フクロウが確認された。

確認種数	猛禽類：4科10種、鳥類（夜間）：2科2種
確認された重要種	ミゾゴイ、ヨタカ、ミサゴ、ハイタカ、オオタカ、サシバ、ノスリ、ハチクマ、フクロウ、アオバズク、ハヤブサ



ミサゴ



オオタカ



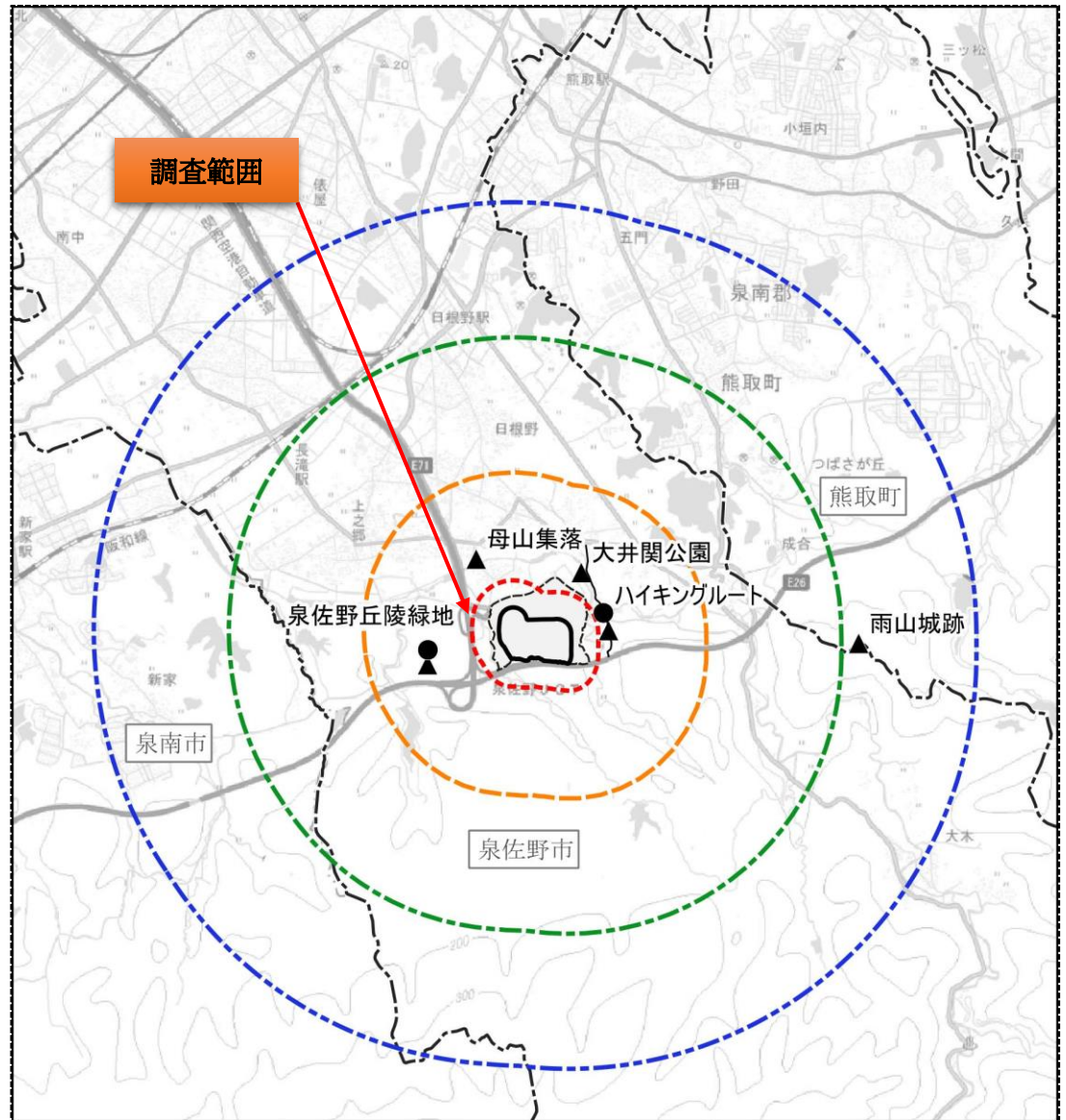
フクロウ

# 調査地点（植物相）

調査地点は、対象事業実施区域を中心に、事業実施による影響範囲等を踏まえて設定している。

## 凡例

- 対象事業実施区域
- 土地区画整理事業予定区域
- 行政界
- ハイキングルート
- 人と自然との触れ合いの活動の場調査地点
- 景観調査地点
- 陸生動物、植物相調査範囲(対象事業実施区域及び周辺200m)
- 植生調査範囲(対象事業実施区域及び周辺1km)
- 猛禽類調査観察範囲(対象事業実施区域及び周辺2km)
- 景観調査地域(対象事業実施区域及び周辺3km)



# 調査結果（植物相）

早春季調査では 77 科 235 種、春季調査では 102 科 377 種の植物が確認された。  
重要種としては、マツバラン、キンラン、ケテイカカズラが確認された。

確認種数	107科434種
確認された重要種	マツバラン、キンラン、ケテイカカズラ



マツバラン



キンラン



ケテイカカズラ

レッドリストに掲載されている種 (1/2)

環境項目		確認した種	国レッドリスト	府レッドリスト	近畿植物レッドデータ		
陸域生態系	陸生動物	哺乳類	イタチ属		VU：絶滅危惧Ⅱ類		
			ニホンアナグマ		NT：準絶滅危惧		
		鳥類	ミゾゴイ	VU：絶滅危惧Ⅱ類	VU：絶滅危惧Ⅱ類		
			ヨタカ	NT：準絶滅危惧	VU：絶滅危惧Ⅱ類		
			オシドリ	DD：情報不足			
			ケリ	DD：情報不足	NT：準絶滅危惧		
			サンショウクイ	VU：絶滅危惧Ⅱ類	VU：絶滅危惧Ⅱ類		
			コシアカツバメ	VU：絶滅危惧Ⅱ類	VU：絶滅危惧Ⅱ類		
			センダイムシクイ		NT：準絶滅危惧		
			カシラダカ		NT：準絶滅危惧		
			猛禽類	ミサゴ	NT：準絶滅危惧		
				ハイタカ	NT：準絶滅危惧		
		オオタカ		NT：準絶滅危惧	NT：準絶滅危惧		
		サシバ		VU：絶滅危惧Ⅱ類	CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類		
		ノスリ			NT：準絶滅危惧		
		ハチクマ		NT：準絶滅危惧	CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類		
		フクロウ			NT：準絶滅危惧		
		アオバズク			VU：絶滅危惧Ⅱ類		
		ハヤブサ		VU：絶滅危惧Ⅱ類			
		両生類	アカハライモリ	NT：準絶滅危惧	NT：準絶滅危惧		
			トノサマガエル	NT：準絶滅危惧	NT：準絶滅危惧		
			シュレーゲルアオガエル		NT：準絶滅危惧		
		爬虫類	ヤマカガシ		NT：準絶滅危惧		

国レッドリストカテゴリー EX：絶滅 EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足  
LP：絶滅のおそれのある地域個体群

府レッドリストカテゴリー EX：絶滅 CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足

近畿植物レッドデータカテゴリー 絶滅：絶滅種 A：絶滅危惧種A B：絶滅危惧種B C：絶滅危惧種C 準：準絶滅危惧種



レッドリストに掲載されている種 (2/2)

環境項目			確認した種	国レッドリスト	府レッドリスト	近畿植物レッドデータ
陸域生態系	陸生動物	昆虫類	ヒメサナエ		NT：準絶滅危惧	
			フタスジサナエ	NT：準絶滅危惧	NT：準絶滅危惧	
			オグマサナエ	NT：準絶滅危惧	VU：絶滅危惧Ⅱ類	
			ヤスマツアメンボ		NT：準絶滅危惧	
			ヒメミズカマキリ		NT：準絶滅危惧	
			ツماغロトビケラ		DD：情報不足	
			スジヒラタガムシ	NT：準絶滅危惧	NT：準絶滅危惧	
			ヤマトアオドウガネ		CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類	
			ヘイケボタル		NT：準絶滅危惧	
			ヒメボタル		NT：準絶滅危惧	
	陸産貝類	アズキガイ		NT：準絶滅危惧		
		ヒメサカキビ	NT：準絶滅危惧			
		ウメムラシタラガイ	NT：準絶滅危惧			
		クチマガリマイマイ	NT：準絶滅危惧			
	水生生物	魚類	ドジョウ	NT：準絶滅危惧	VU：絶滅危惧Ⅱ類	
			シマヨシノボリ		DD：情報不足	
			ウキゴリ		NT：準絶滅危惧	
		底生生物	マルタニシ	VU：絶滅危惧Ⅱ類	VU：絶滅危惧Ⅱ類	
			モノアラガイ	NT：準絶滅危惧	CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類	
			ドブシジミ		NT：準絶滅危惧	
	陸生植物	植物相	マツバラン	NT：準絶滅危惧	CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類	準：準絶滅危惧種
キンラン			VU：絶滅危惧Ⅱ類	VU：絶滅危惧Ⅱ類	C：絶滅危惧種 C	
ケテイカカズラ					準：準絶滅危惧種	

国レッドリストカテゴリー EX：絶滅 EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足  
LP：絶滅のおそれのある地域個体群











府レッドリストカテゴリー EX：絶滅 CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足

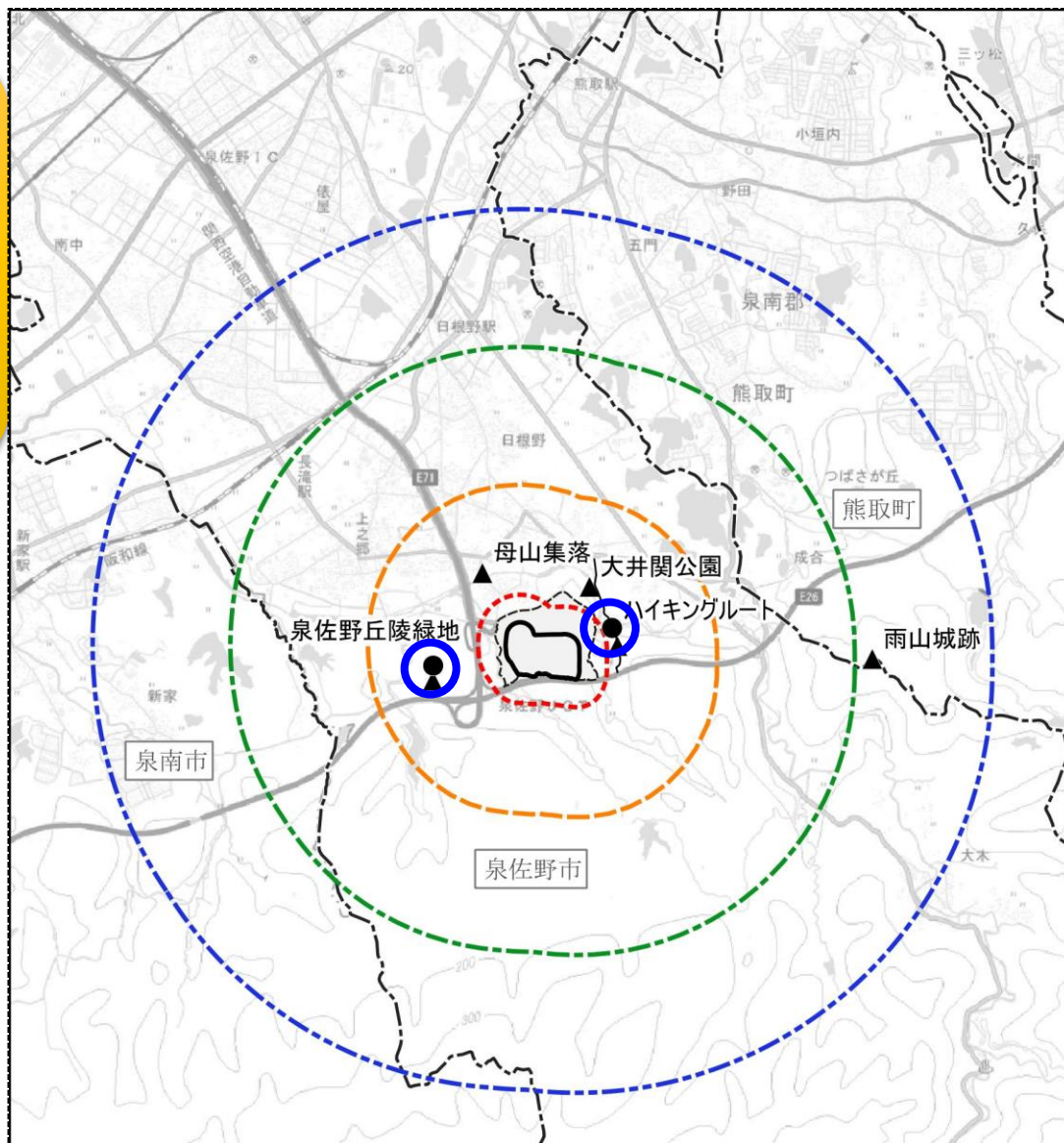
近畿植物レッドデータカテゴリー 絶滅：絶滅種 A：絶滅危惧種 A B：絶滅危惧種 B C：絶滅危惧種 C 準：準絶滅危惧種

# 調査地点（人と自然との触れ合いの活動の場）

調査地点は、対象事業実施区域を中心に、事業実施による影響範囲や住居地域、公園施設等の利用、施設の分布状況等を踏まえて設定している。

## 凡 例

-  対象事業実施区域
-  土地区画整理事業予定区域
-  行政界
-  ハイキングルート
-  人と自然との触れ合いの活動の場調査地点
-  景観調査地点
-  陸生動物、植物相調査範囲(対象事業実施区域及び周辺200m)
-  植生調査範囲(対象事業実施区域及び周辺1km)
-  猛禽類調査観察範囲(対象事業実施区域及び周辺2km)
-  景観調査地域(対象事業実施区域及び周辺3km)



## 調査結果（人と自然との触れ合いの活動の場）

人と自然との触れ合いの活動の場調査では、冬季、春季に利用者数カウント調査とアンケート調査を行った。

泉佐野丘陵緑地			
冬季調査	利用者数カウント	2月2日	94人
		2月5日	123人
	アンケート回答数	2月2日	41人
		2月5日	29人
春季調査	利用者数カウント	4月7日	143人
		4月9日	211人
	アンケート回答数	4月7日	28人
		4月9日	44人

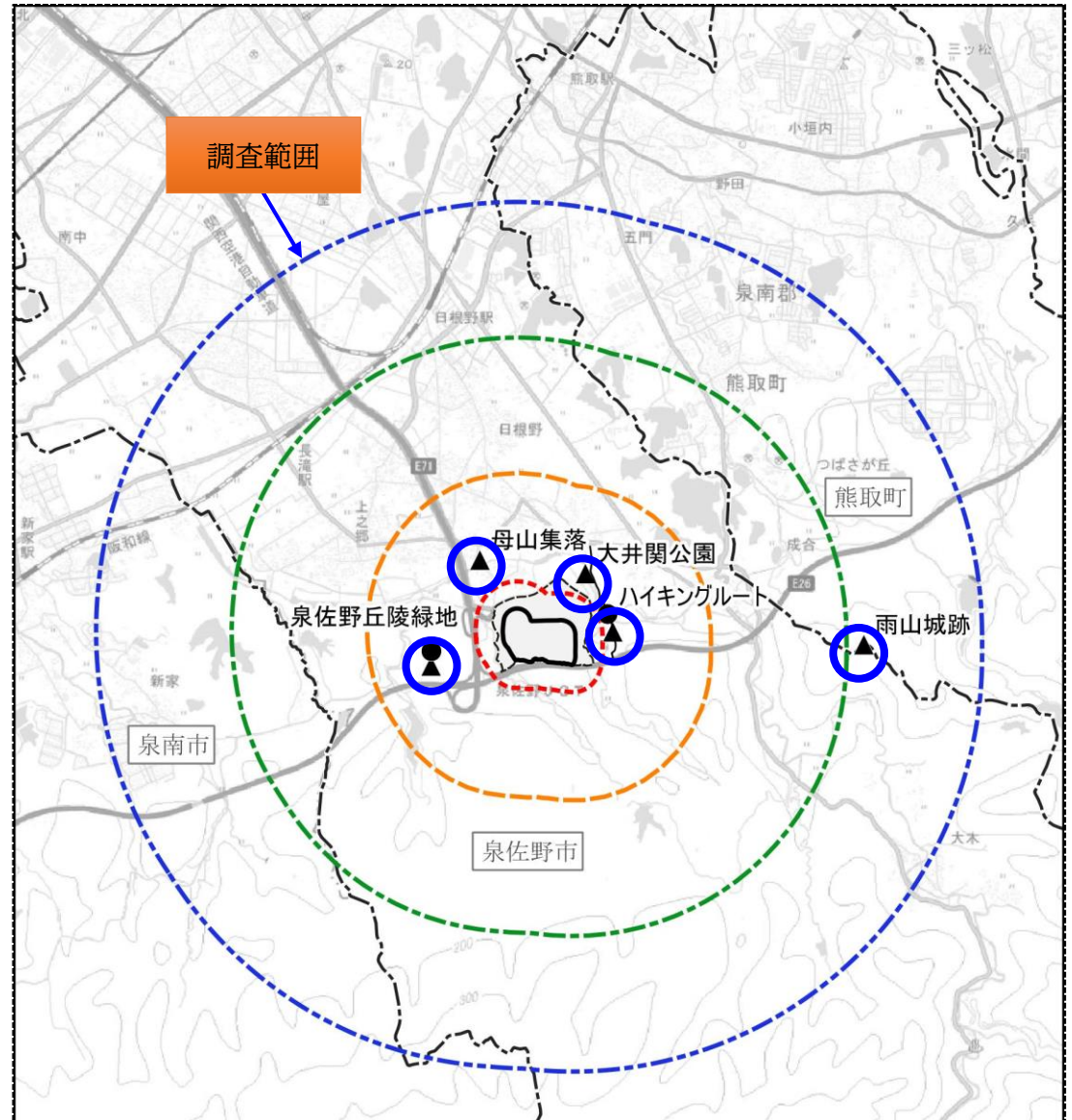
ハイキングルート			
冬季調査	利用者数カウント	2月2日	29人
		2月5日	32人
	アンケート回答数	2月2日	12人
		2月5日	10人
春季調査	利用者数カウント	4月7日	168人
		4月9日	126人
	アンケート回答数	4月7日	60人
		4月9日	30人

# 調査地点（景観）

調査地点は、対象事業実施区域を中心に、事業実施による影響範囲や住居地域、公園施設等の利用、施設の分布状況等を踏まえて設定している。

## 凡例

- 対象事業実施区域
- 土地区画整理事業予定区域
- 行政界
- ハイキングルート
- 人と自然との触れ合いの活動の場調査地点
- ▲ 景観調査地点
- 陸生動物、植物相調査範囲(対象事業実施区域及び周辺200m)
- 植生調査範囲(対象事業実施区域及び周辺1km)
- 猛禽類調査観察範囲(対象事業実施区域及び周辺2km)
- 景観調査地域(対象事業実施区域及び周辺3km)



# 調査結果（景観）

景観調査では、冬季・春季に以下に示す地点で写真撮影を行った。



母山集落周辺



泉佐野丘陵緑地



大井関公園



ハイキングルート



雨山神社